

「糖尿病」から世界共通語の” Diabetes”「ダイアベティス」へ

一般社団法人臨床糖尿病支援ネットワーク

第16回ブルーライトアップ 市民向けオンラインセミナー

世界糖尿病デーとは

11月14日の世界糖尿病デーは、世界に広がる糖尿病の脅威に対応するために1991年にIDF（国際糖尿病連合）とWHO（世界保健機関）が制定し、2006年12月20日に国連総会において「糖尿病の全世界的脅威を認知する決議（UN Resolution 61/225）」が加盟192カ国の全会一致で採択されると同時に、国連により公式に認定されました。11月14日は、インスリンを発見したカナダのバンティング博士の誕生日であり、糖尿病治療に画期的な発見に敬意を表し、この日を糖尿病デーとして顕彰しています。

世界糖尿病デーは、現在、世界160カ国から10億人以上が参加する世界でも有数の疾患啓発の日となっており、この日を中心に全世界で繰り広げられる糖尿病啓発キャンペーンは、糖尿病の予防や治療継続の重要性について市民に周知する重要な機会となっています。

世界糖尿病デーのキャンペーンには、青い丸をモチーフにした「ブルーサークル」が用いられますが、これは、糖尿病に関する国連決議が採択された翌年2007年から使われるシンボルマークです。国連やどこまでも続く空を表す「ブルー」と、団結を表す「輪」をデザインし、”Unite for Diabetes”（糖尿病との闘いのため団結せよ）というキャッチフレーズとともに、世界中で糖尿病抑制に向けたキャンペーンを推進しています。

日時

2025年11月8日（土）

15:00~16:30

会場（Zoom）

右側のQRコードを読み取り、
入室ください。

定員

先着 250名 事前申込不要

当日のプログラム

総合司会／実行委員長

熊倉医院

熊倉 淳 先生

開会の辞（15:00）

一般社団法人臨床糖尿病支援ネットワーク

代表理事 近藤 琢磨 先生

特別講演（15:05）

人生100年時代を見据えた

糖尿病（ダイアベティス）の

予防と自己管理とらの巻

（医）慈翔会 かたやま内科クリニック

院長 片山 隆司 先生

※質疑応答（16:05）お気軽にご質問ください※

閉会の辞（16:25）

次回実行委員長

立川相互病院

宮城 調司 先生



ID: 843 0382 4301
パスコード: 638215

Zoomアプリのダウンロードが必要です。



2025年11月14日（金）17:00~
スカイツリー西東京（西東京市芝久保町 5-8-2）
が世界糖尿病デーのシンボルマークであるブルーサークルをイメージした《動きのある青色》に点灯します。ぜひ、ご覧ください！

一般社団法人 臨床糖尿病支援ネットワーク・事務局

〒185-0012 国分寺市本町 2-23-5

ラフィネ込山 NO.3-802 号

（Tel）042-322-7468

（Fax）042-322-7478

（mail）info@cad-net.jp



world diabetes day